

“子どもやペットを残したままのキー閉じこみ” 昨年の8月は1カ月で71件！

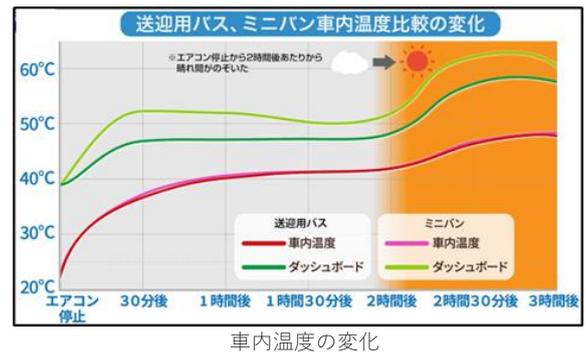
JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は7月29日（月）に昨年8月の1カ月間に出動した“子どもやペットを車内に残したままのキー閉じこみ”の件数を公表し、車内熱中症事故予防を呼びかけています。

■昨年の8月、子どもやペットを残したキー閉じこみは71件。3件はドアガラスを割って救援

2023年8月1日～8月31日の1カ月間、JAFが出動した「キー閉じこみ」の救援のうち、子どもやペットが車内に残されたままであったケースは全国で71件（子ども：35、ペット：36）ありました。このうち、緊急性が高いと判断し、通常の開錠作業ではなくドアガラスを割るなどしたケースは3件ありました。

現場での聞き取り調査によると、閉じこみの原因には「子どもが鍵で遊んでいたら施錠してしまった」「ペット（犬）が誤って運転席ドアのロックボタンを押してしまった」などがありました。

JAFが実施した真夏の車内温度の検証テストによると、送迎用バスとミニバンを比較したところ車両の大きさによって車内温度や熱中症の危険性に大きな差はありませんでした。しかし、曇りであってもわずか1時間後には車内温度が40℃を超え暑さ指数は危険レベルに達しました。曇りの状態でも一定の温度までは上昇しましたが、日が出ている時間はさらに温度が上昇しました。



URL：<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/temperature/comparison>

■子どもやペットだけでなく大人も要注意。車内熱中症回避のために行動を

「少しの時間だから」「寝ているから」などの理由で車内に子どもを残したままクルマを離れることは、車内熱中症を引き起こす事故になりかねません。天候や気温に関わらず、ぜったいに子どもやペットを車内に残して離れないでください。

またJAFでは日本気象協会推進「熱中症ゼロへ」プロジェクトの協力団体として、熱中症防止を啓発しています。

久保智子 気象予報士(日本気象協会)によると

8月は、日本付近でチベット高気圧と太平洋高気圧の張り出しが強まる予想で、気温は全国的に平年より高く、猛暑になりそうです。最高気温が35℃以上の猛暑日が続いたり、地域によっては40℃以上になったりする可能性もあります。夜間も気温が下がりにくいため、昼夜問わず、万全な熱中症対策が必要です。9月の気温も東日本や西日本を中心に平年より高く、厳しい残暑が続くでしょう。



一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel：03(3578)4920 Fax：03(3578)4912 Mail：koho@o3.jaf.or.jp URL：<https://jaf.or.jp/>
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館